

逆流性食道炎

逆流性食道炎とは、胃液など胃の内容物が食道に逆流しておこる炎症のことです。

逆流性食道炎の症状

- ◆胸やけ
- ◆呑酸

胸やけという症状1つとっても、患者さまによっては、「胃酸（酸っぱい物）が上がる」「胸が焼ける」「食べ物がしみる」「胃が痛い」など、感じ方は様々です



- ◆胸の痛み
- ◆喉の違和感
- ◆咳
- ◆口の苦み など

これらの症状から循環器科・呼吸器科・耳鼻科を受診される患者さまも。受診した診療科で検査しても以上がない場合は、逆流性食道炎の可能性ががあります

上記のような症状でお悩みの方は、
まずは、消化器内科をご受診ください

診断の際に行う検査

◆胃の内視鏡検査

逆流性食道炎が疑われる場合、胃の内視鏡検査を行います。
当院では経鼻・経口内視鏡どちらでも患者様のご希望に応じて行っています。
経鼻内視鏡をご希望の方は、受診の際にご相談ください。

当院で行っている治療

◆薬物療法



近年では、薬物療法が主な治療として用いられています。
下記の薬を組み合わせる治療を行います。

酸分泌抑制剤……………胃酸過多の状態を改善する
消化管運動亢進薬…食道に逆流した胃酸を胃にもどす効果のある
制酸剤……………食道に逆流した胃酸を中和する